

平成24年度教育研究活動報告書

氏 名	菅 準一	所 属	経済情報学科
学 位	修士（経済学）	職 位	教授
専門分野	ミクロ経済学		
I 教育活動			
本年度担当科目			
学 部	経済学入門(ミクロ経済学)、ミクロ経済学I、ミクロ経済学II、現代の経済学、基礎演習、専門演習I、専門演習II		
大学院	ミクロ経済学特論		
II 研究活動			
これまでの主な研究業績（5件まで）			
<p>(1) 情報とファイナンスの経済学 著書 単著 尾道大学特別研究費助成出版 2008年1月</p>			
<p>(2) 非対称情報と動的最適化問題：Mathematica を使った数値例 論文 単著 尾道大学 経済情報論集 Vol. 2 No.2 2002年 12月</p>			
<p>(3) 非対称情報と制約付き最大化問題 論文 単著 尾道大学 経済情報論集 Vol. 2 No.1 2002年 6月</p>			
<p>(4) 経済学の教育・研究における記号処理ソフト利用の一事例について 論文 単著 尾道短期大学研究紀要 第43巻2号 1994年</p>			
本年度を含む過去5年間の研究業績			

<p>(1) Rでロジスティック回帰分析 論文 単著 尾道大学経済情報論集 Vol. 12 No.1 2012年6月</p>
<p>(1) PyQt4とsympyでつくる電卓 論文 単著 尾道大学経済情報論集 Vol. 11 No.2 2011年12月</p>
<p>(2) Multi Agent Based Simulation Tools を使った経済分析について 論文 単著 尾道大学経済情報論集Vol. 11 No. 1 2011年6月</p>
<p>(3) Pythonを使った経済分析について 論文 単著 尾道大学経済論集 Vol. 10 No.2 2010年12月</p>
<p>(4) 一般均衡の定量的分析 研究ノート 単著 尾道大学経済論集 Vol. 9 No.2 2009年 12月</p>
<p>現在の研究テーマ (3つまで)</p>
<p>(1) 異時点間の最適化問題 (DP) とその数値解析</p>
<p>(2) Discrete Choice Modelの理論と推計</p>
<p>(3) 経済学教育におけるコンピュータの活用</p>
<p>学会、所属団体における活動</p>
<p>所属学会・所属団体 役職等</p>
<p>中四国商経学会 理事 日本経済政策学会 理事</p>
<p>Ⅲ 社会活動</p>
<p>委員会及び協議会委員</p>
<p>尾道市以外</p>

広島県尾道系崎港地方港湾審議会委員